

福島県裏磐梯のコカナダモ、オオカナダモ

星 一 彰 (福島県自然保護協会)

裏磐梯のコカナダモについては、すでに報告(星, 1989, 1991)されたが本年(1992年8月15日)になって、自然景観のすぐれた観光場所として有名な中瀬沼に全面分布拡大している事実を確認できたので報告する。

中瀬沼は、松原湖からの水が流れ、乙女沼を通過して松原川となり、小野川湖に注いでいる。ジュンサイ栽培

池(曾原集落)、乙女沼、松原川そして中瀬沼と確実に分布を拡大していることが明らかである。

オオカナダモは、川上青沼で確認されているが、その分布拡大は遅く、現在のところ沼の約50%程度であり、従来からのヤナギモを駆逐している。

裏磐梯の帰化水生植物の分布拡大は、観光客の来訪による環境変化、特に水質汚濁と関係あるように思われる。また、コイなどの養殖のための餌づけの事実が、この傾向に拍車をかけている可能性がある。



図1. (上) 沼全面にコカナダモが繁茂した中瀬沼 (1992. 8. 15)

図2. (下) コカナダモ分布拡大 (1992. 8. 15)

図3. (上) ジュンサイ栽培池のコカナダモ除草 (1991. 4. 29)

図4. (下) 川上青沼のオオカナダモ (開花中) (1992. 8. 24)